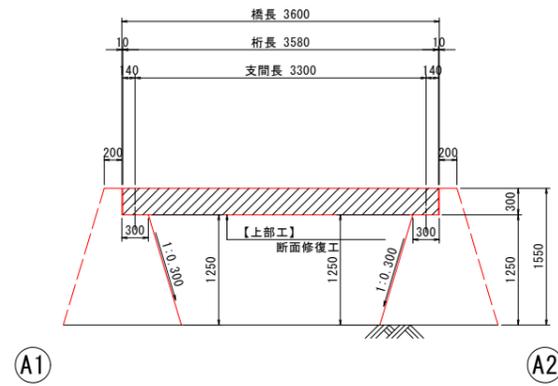


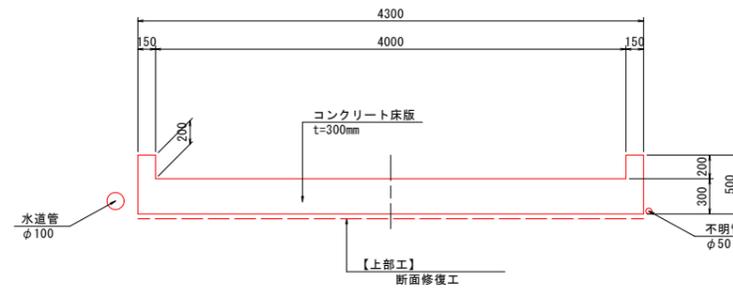
補修一般図 S=1:40

栗津西開8号線1号橋

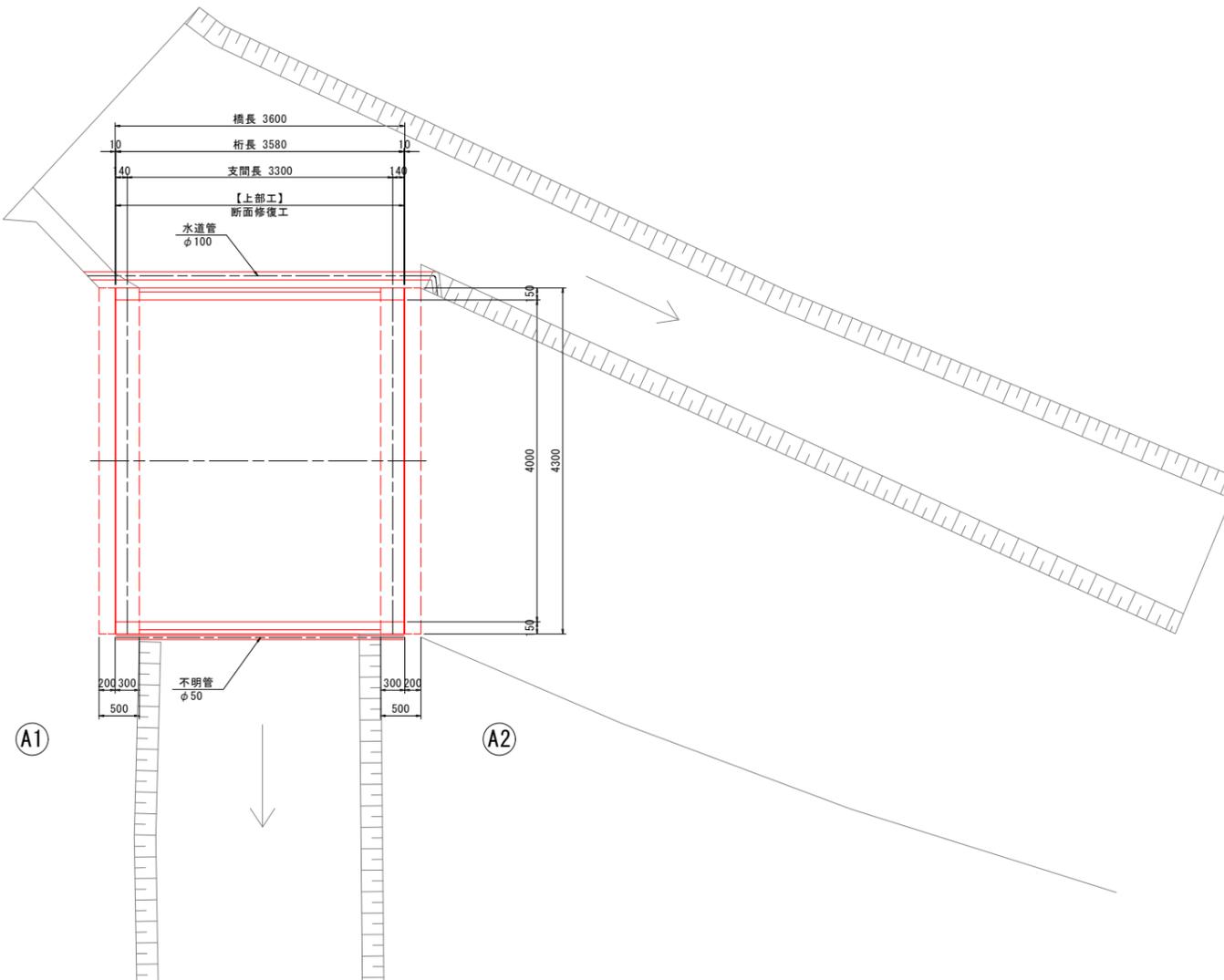
側面図



断面図 S=1:30



平面図



設計条件

道路条件	
路線	市道 栗津西開8号線
道路規格	不明
設計速度	不明
設計荷重	不明
大型車交通量	-
計画交通量	-
交差物件	水路
幾何条件	
橋名	栗津西開8号線1号橋
橋長	L=3.600m
桁長	3.580m
支間長	3.300m
総幅員	4.300m
有効幅員	4.000m
斜角	$\theta = 90^{\circ} 00' 00''$ (道路中心)
平面線形	R = ∞
縦断勾配	
横断勾配	
構造形式	
上部工	RC中実床版橋
舗装	-
下部工	重力式橋台(A1, A2)
基礎工	不明
支承	-

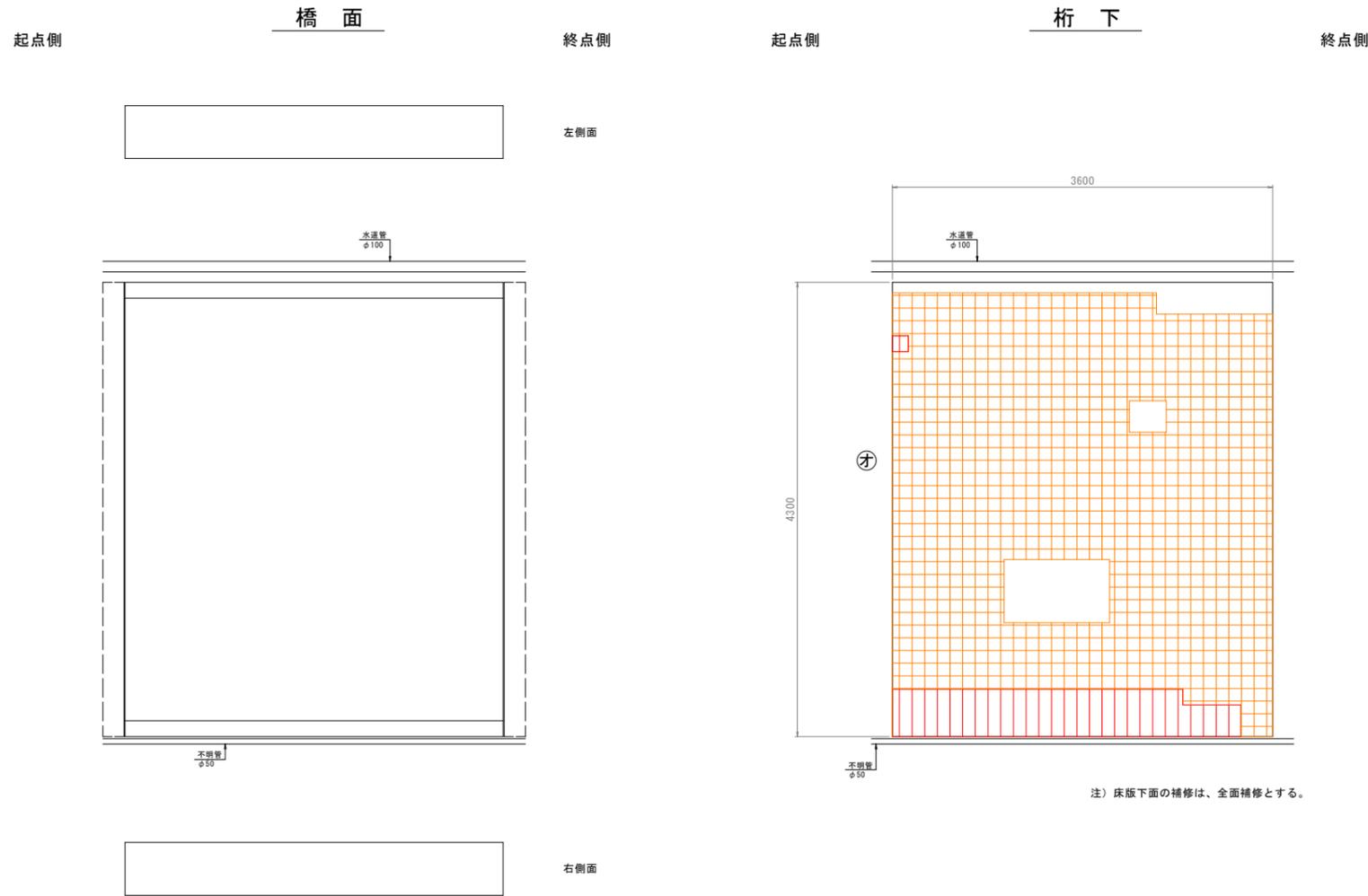
栗津西開8号線1号橋

図面番号	第 1 号	図面総数	全 3 葉
工事名称	栗津西開8号線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修一般図	縮尺：図示	
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

鳴門市 都市建設部 土木課

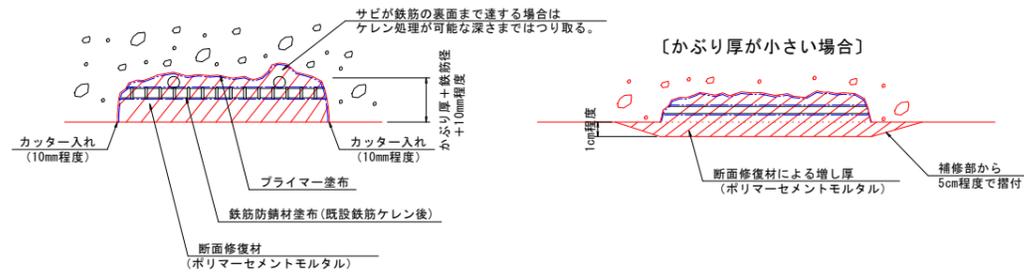
補修詳細図 S=1:30

粟津西開8号線1号橋

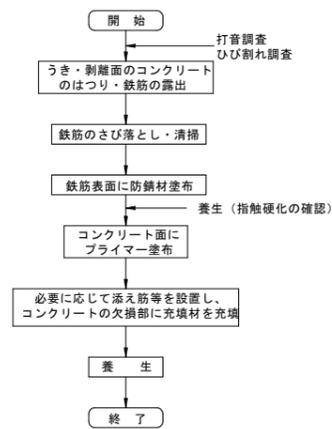


注) 床版下面の補修は、全面補修とする。

断面修復工詳細図



【断面修復工法の施工要領】



断面修復面積 (左官工法)

部材	No.	種別	幅 W (mm)	延長 L (mm)	深さ t (mm)	面積 A (m ²)	体積 V (m ³)
主桁0101	オ	うき	4300	3600	50	15.4800	0.7740

《補修工法一覧表》

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡例	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

《ひび割れの線種》	
	ひび割れ幅0.2mm未満
	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法（もしくはVカット工法）で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。
 注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

凡例
①～：ひびわれ注入工法
⑦～：断面修復工法

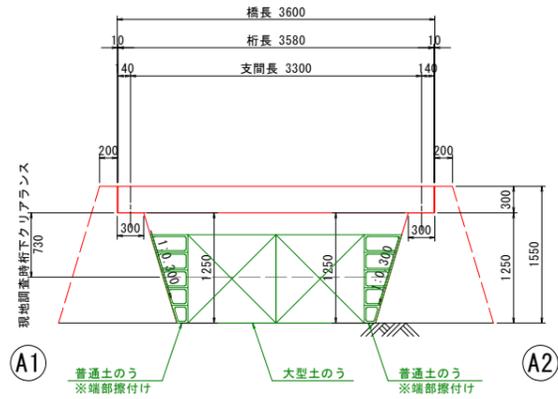
粟津西開8号線1号橋

図面番号	第 2 号	図面総数	全 3 葉
工事名称	粟津西開8号線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修詳細図	縮尺	図示
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

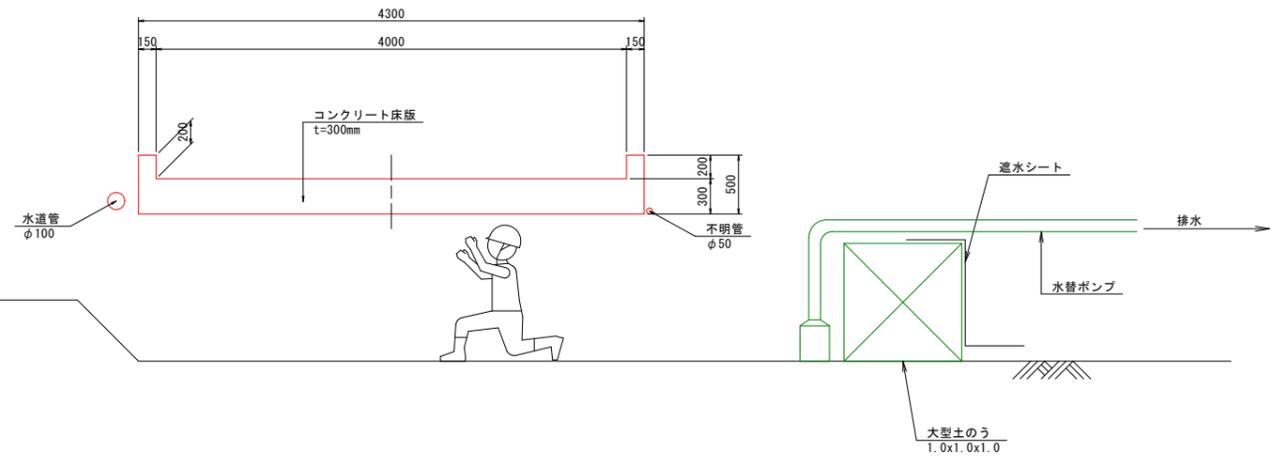
施工要領図 S=1:40

粟津西開8号線1号橋

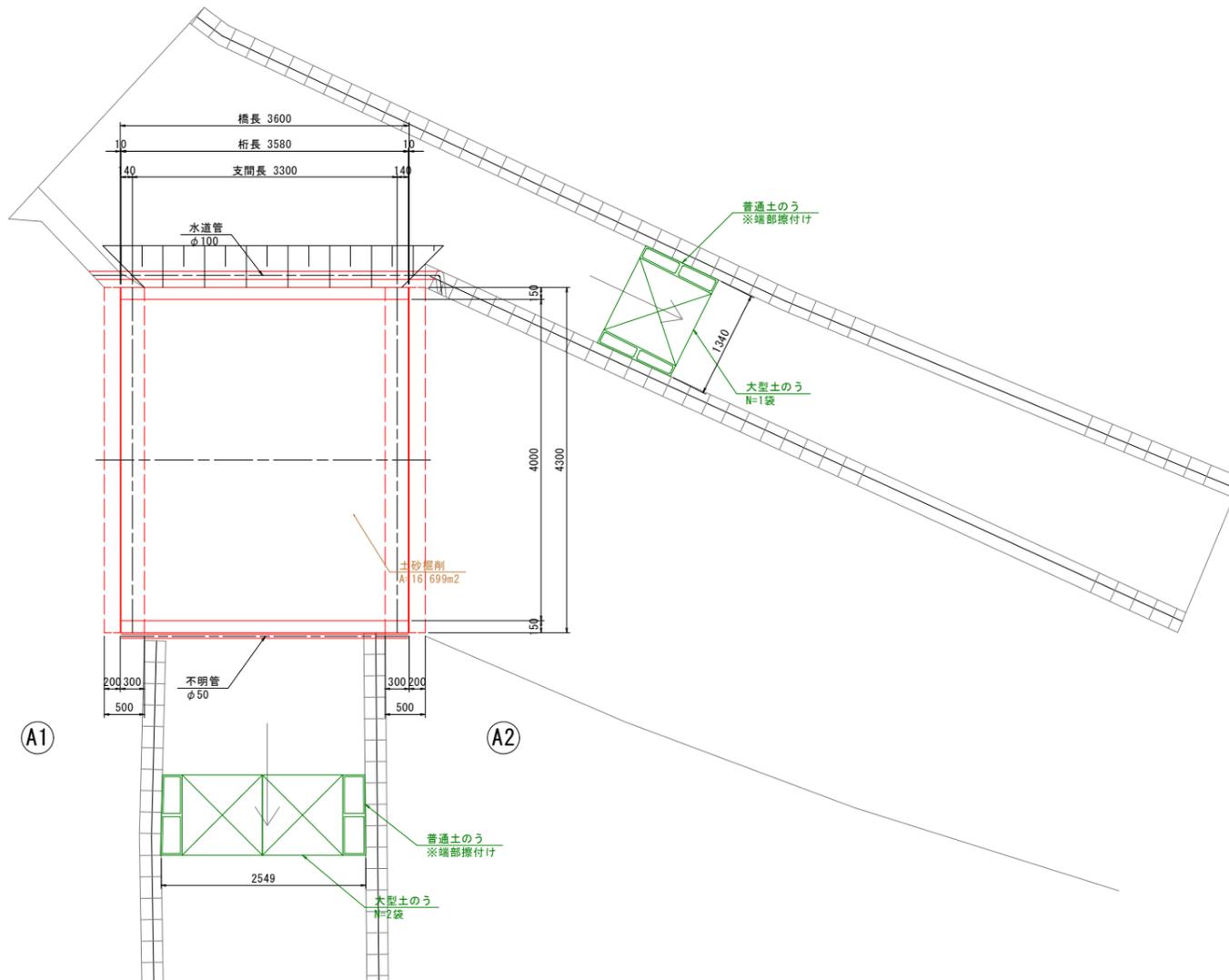
側面図



断面図 S=1:30



平面図



粟津西開8号線1号橋

図面番号	第 3 号	図面総数	全 3 葉
工事名称	粟津西開8号線1号橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図		縮尺：図示
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

鳴門市 都市建設部 土木課